

! 地震はいつでも起きるかわかりません。大きな揺れを感じたり、身の回りに危険を感じたりしたら、迷わず行動してください！

地震の揺れと想定される被害

- | 震度6弱 | 震度6強 | 震度7 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることが困難になる。 ● 窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ● 耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ● はわなないと動くことができない。飛ばされることがある。 ● 大きな地割れが生じたり、がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。 ● 広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。 |

地震発生時のタイムライン

地震発生

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。 ● クッションや雑誌などで頭を保護する。 ● 家具やガラス面から離れる。

緊急地震速報

地震発生後、大きな揺れが来る数秒～数十秒前にテレビ・ラジオ・携帯電話などに警報を発表するシステムです。震源に近い地域は、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。

テレビ・ラジオ 携帯電話 防災行政無線

こんなときは

人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い、落ち着いて行動。

路上にいた!

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

注意 ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。

車を運転していた!

徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に、カーラジオなどで情報収集。

注意 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。

エレベーターの中にいた!

すべての階のボタンを押して、停止した階で降りる。

注意 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。

山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意。

揺れがおさまったらまず火の始末

- 脱出口を確保する。 ● 火元を確認する。 ● 家族の安全を確保する。 ● 靴をはく。

隣近所の安全確認・火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかける。 ● 余震に注意。 ● 非常持出品を用意する。
- 近所に火が出ていたら初期消火。

ラジオなどで正しい情報を入手

- 正しい情報をつかむ。 ● 電話は緊急連絡を優先。 ● 家屋倒壊などの危険があれば避難。

協力して消火・救出・救護活動

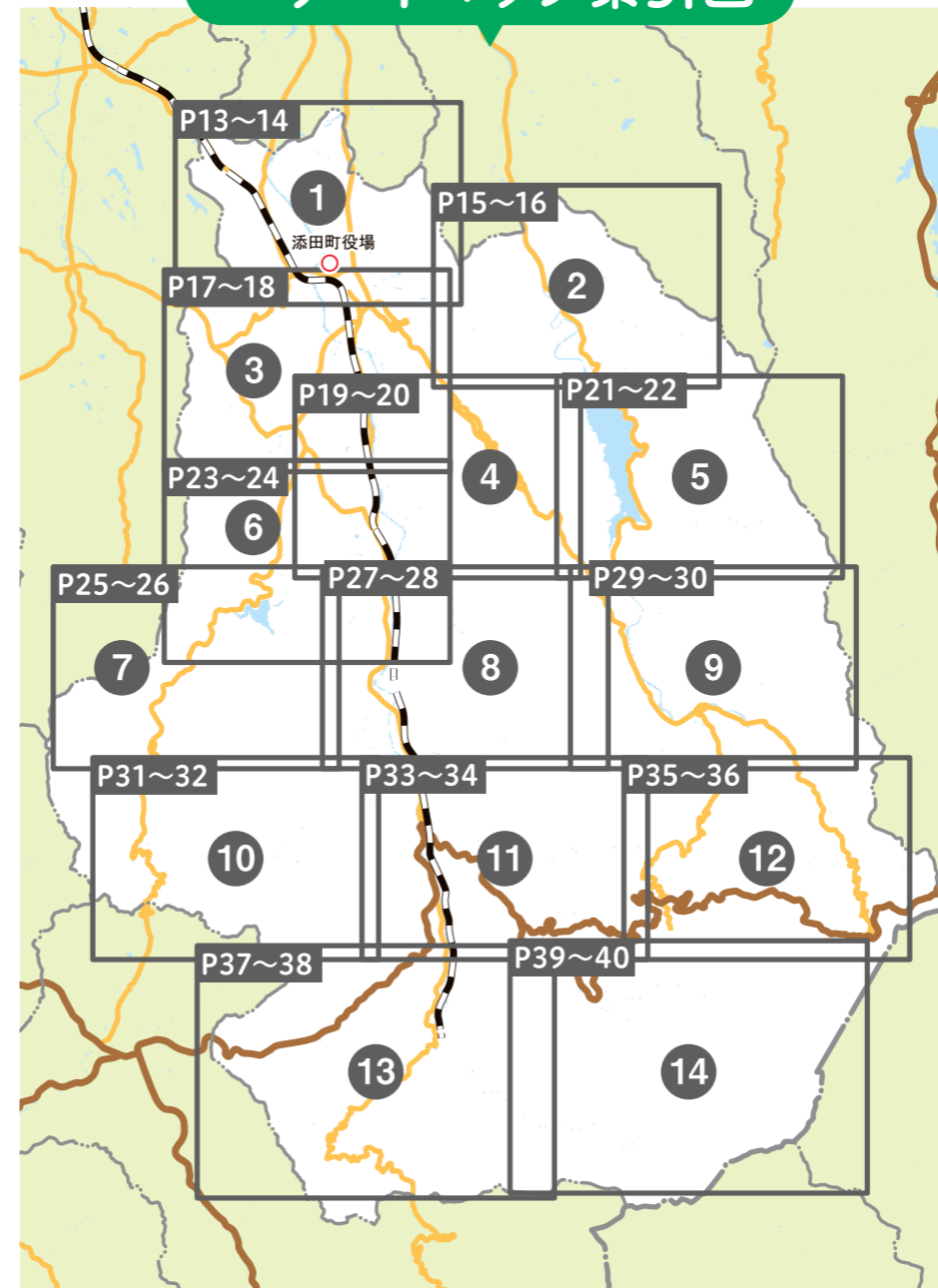
- 助け合いの心が大切。 ● 水・食料は蓄えているもので。 ● 壊れた家には入らない。
- 災害情報・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない。

ハザードマップで確認したいポイント

- ! 自宅等の周辺で指定されている洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域など
- ! 避難場所の位置、自宅から避難場所へ向かう経路、避難経路中の危険箇所
- ! 災害時に危険と思われる箇所（河川より低い道路、防護柵のない水路など）
- ! 防災施設（消防団詰所など）



ハザードマップ索引図



洪水浸水想定区域

想定最大規模の大雨に伴う洪水によって河川が氾濫した場合の浸水範囲と深さを示したものです。

- ▶ 対象となる河川…………… 遠賀川水系彦山川
- ▶ 想定的前提となる降雨 …… 日の出橋上流域の12時間総雨量592mm
- ▶ 作成主体…………… 国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所
- ▶ 作成年月…………… 平成28年(2016年)5月

- ▶ 対象となる河川…………… 遠賀川水系中元寺川
- ▶ 想定的前提となる降雨 …… 中元寺川流域の6時間の総雨量524mm
- ▶ 作成主体…………… 福岡県
- ▶ 作成年月…………… 令和元年度

- ▶ 対象となる河川…………… 今川水系今川
- ▶ 想定的前提となる降雨 …… 今川流域の24時間の総雨量958mm
- ▶ 作成主体…………… 福岡県
- ▶ 作成年月…………… 平成30年(2018年)4月

5m以上	家屋の1階がすべて水に浸かってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。
5m(2階軒下あたり)	
3m(2階床下あたり)	家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、生活に重大な影響がでます。
0.5m(大人の膝あたり)	

家屋倒壊等氾濫想定区域

(想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに検討)

「氾濫流」による家屋倒壊等

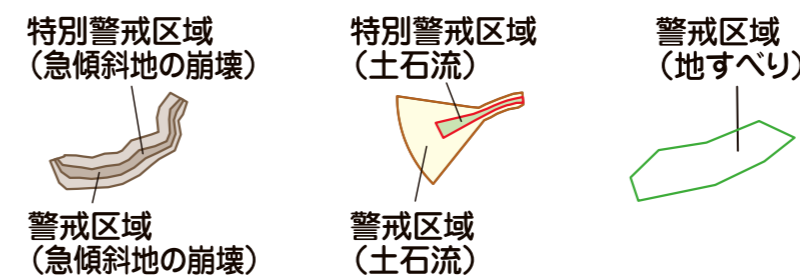
堤防決壊などの氾濫によって木造家屋が倒壊するおそれがある区域

「河岸侵食」による家屋倒壊等

氾濫によって堤防などの河岸が削られることで、木造・非木造の家屋が倒壊するおそれがある区域

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

福岡県が令和2年2月現在で告示している、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。土砂災害警戒区域・特別警戒区域については、9ページをご覧ください。



このハザードマップに表示されている危険区域以外にも、災害が発生する可能性があるため、周囲の状況や防災気象情報に注意して、早め早めの行動を心がけてください。